



2022年2月14日

各位

会社名 株式会社エンバイオ・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 西村実  
(コード番号：6092)  
問合せ先 経理部長 長谷川忠玄  
(TEL. 03-5297-7155)

## 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえ、2021年8月13日に公表いたしました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年3月期の連結業績予想値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2021年8月13日公表）	百万円 8,550	百万円 749	百万円 645	百万円 361	円 銭 54.40
今回修正予想（B）	9,107	1,140	1,073	585	88.14
増減額（B-A）	556	391	428	223	
増減率（%）	6.5	52.2	66.4	62.0	
（参考）前期連結実績 （2021年3月期）	6,840	617	592	304	45.81

#### 2. 修正の理由

土壌汚染対策事業において、開発事業者が土壌汚染の対策に関連する予算を縮小化する傾向にある市場の変化に対応し、土壌汚染の管理を目的とした対策手法（管理型手法）の提案を増やした結果、受注件数が増えました。また、大型案件受注も追い風となり、売上高は前回予想を上回る見込みとなりました。ブラウンフィールド活用事業においても、第3四半期連結累計期間に大型の物流素地案件の2件の売却がありました。自然エネルギー事業につきましても堅調に推移する見通しです。

利益面につきましても、土壌汚染対策事業の売上高の増加に加え、前期より高原価率案件の割合が減り、施工効率改善の効果が出てきたことや、ブラウンフィールド活用事業において、汚染土地の再生を効率的に行うことによりプロジェクト損益が改善し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が、前回予想を大きく上回る見込みとなりました。

なお、下半期に完了を予定していた工事進行基準を適用している浄化工事が、当第3四半期連結会計期間末時点において予想を上回るペースで工事が順調に推移しております。そのため、当第3四半期連結累計期間において予定より多く売上高が前倒しで計上されました。また、工事プロセスの見直し、工事原価の低減策等を実施したことで、利益面に関しましても売上高と同様の理由により大幅に前倒しで計上されております。その結果、工事売上（受注）総額は変わらないものの、前倒しで売上高が計上された分、第4四半期連結会計期間の売上高及び利益面において、当初予測と差異が発生する見込みです。

また、新型コロナウイルス感染症による連結業績への影響は現在のところ軽微であるため、その影響を織り

込んでおりません。しかし今後、連結業績への影響があると判断した場合には、速やかに開示いたします。

なお、今回の業績予想修正に伴い、配当予想も修正し、今回期末配当金を8円／1株を予想しております。詳しくは、「2022年3月期 配当予想の修正（初配）に関するお知らせ」をご参照ください

（注）上記に記載しました予測数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

以上